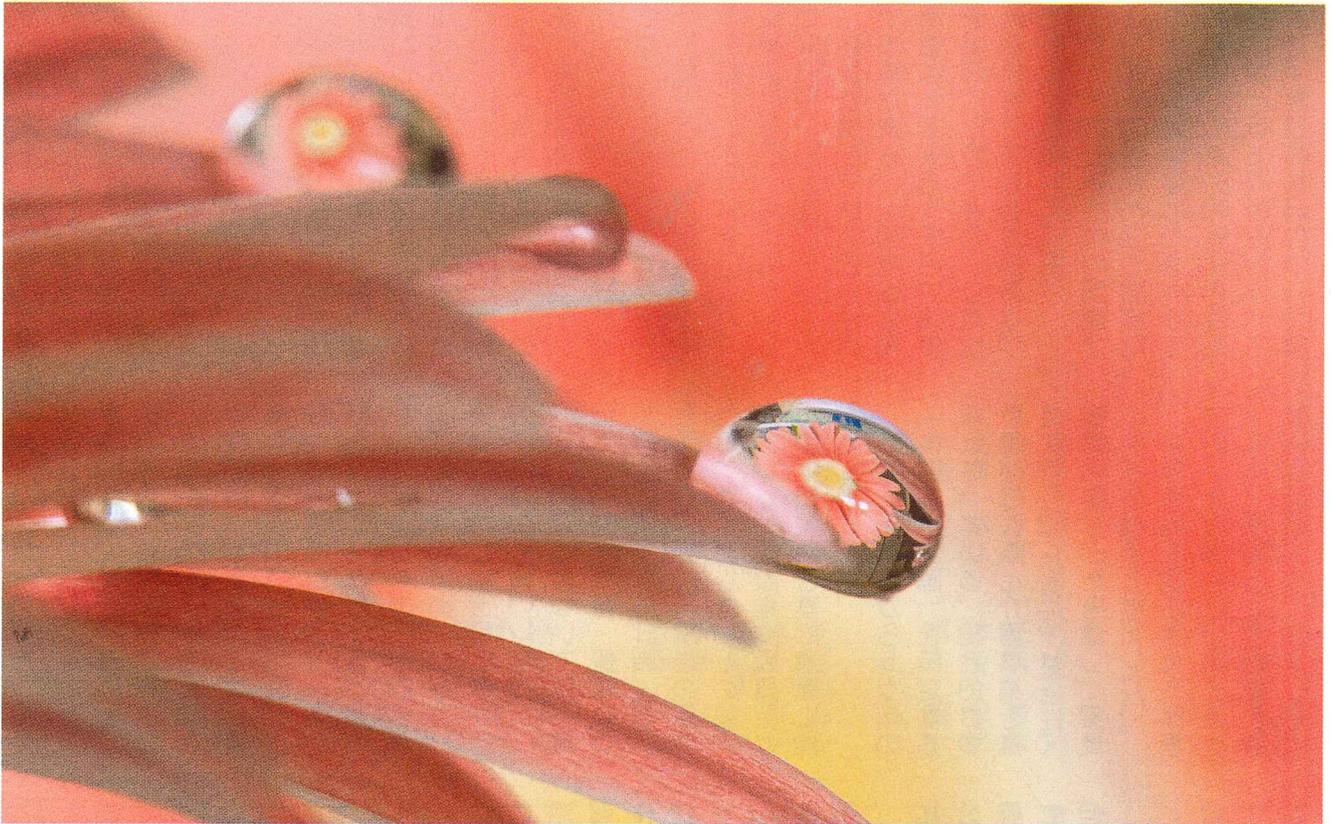


らぼり通信

【発行】
たじま医療生活協同組合
理事長 安木 洪

【連絡先】
〒668-0851
兵庫県豊岡市今森465番地の1
事務局 ☎24-7035
ホームページ
<http://tajima-coop.com/index.html>

第150号 2020.7.15



想像力

撮影 藤木 澄男

進化論のダーウインは「生き残る種とは最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最も良く適応したものである。」と言っている。今から700万年前のアフリカで猿人が誕生したとされる人類の祖先。「猿人↓原人↓旧人↓新人」進化の歩みは単純ではなく、およそ20種類の人類が時には共存し、誕生と絶滅を繰り返していた。

20万年前に誕生した、私たちホモ・サピエンス。5万年前に先祖達がアフリカを出て中東へ進出した時、そこには別種の人類ネアンデルタール人が暮らしていた。彼らの最大の特徴は、強靱な体。レスラーのように筋肉隆々でマンモスやバイソンなど大型動物を狩る屈強なハンターだった。さらに、近年、発見が相次ぎ、言語を操り、高度な文化を持っていた可能性が高い事も明らかになってきている。ネアンデルタール人は、知性と体力を兼ね備えながら、およそ4万年前に絶滅した。

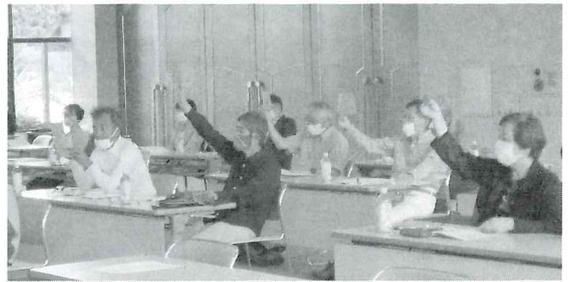
ネアンデルタール人に比べると、私たちホモ・サピエンスは華奢で、力もひ弱だった。にもかかわらず、先祖達が地球上で唯一の人類として生き残った理由は弱いからだ。弱いからこそ、安全な狩りを行うために常に道具を工夫し、仲間同士で力を合わせる「協力」を高めた。そうして人口を増やしていったことで、脳の進化が促され、環境の変化に対応する全く新たな力「想像力」を獲得したからだと考えられている。

「想像力」を持つものは、地球上では私たちホモ・サピエンスしかない。圧倒的な対応能力である。今、この力をどう活かすかに私たちの未来のみならず、地球の未来もかかっている。

私の利益を追求する為だけに「想像力」を使っていれば、これからの環境の変化に対応出来無くなる事は明白である。コロナで生活が大きく変わろうとしている今、私たちの「想像力」が試されている。

笑う子の声の満ちるや雲の峰 なお規

但馬空港ターミナルビル多目的ホール



安木 洪 理事長あいさつ



本総代会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の臨時措置として、書面議決を基本に支部ごとの出席者を限定して行う。

2019年度は、くらしの助け合いの会「なんなっと」

が、日常生活の中の困りごとに組合員の枠を超えて支援を行った。また、送迎ボランティア・抱っこボランティアが、医療生協ならではの活動として続いたことに感謝している。

経営に関しては、法人全体で改善が進み、当期末処分剰余金は983万1千円で決算を結ぶことができた。これは職員の皆さまの努力のおかげであると感謝している。

ろっぽう診療所長の問題では、事業の根幹となる診療所の経営基盤の強化を進めるうえでも、後継医師確保を最優先課題として取り組みを進めてきた。厳しい状況の中、兵庫民医連のお力添えで、合田泰

幸所長を迎えることができた。

藤井先生に引き続きご指導をいただきながら、但馬地域の特性に応じた医療と介護の連携や、支部の見守り活動と合わせて「地域包括ケア」の中核を担っていただけると期待をしている。なお、医師確保の課題解決のため、つなぐ情報も含めた組合員の皆さまのご協力をお願いしたい。

法人所有地については、豊岡市が「幼児教育・保育及び放課後児童のあり方計画(案)」を策定し、施設再編後の用地として買い戻したいとの意向があった。建設推進委員会からの中間報告を基に慎重に検討していきたい。

2021年度から5ヶ年の「後期基本計画」を策定する年となっている。総合的かつ計画的な医療と介護事業を推進するため、必要性、緊急性、事業効果などを考慮し、実現に向けた計画を策定したい。終わりに、退任される理事の皆さまの働きに感謝するとともに、今後ともご指導をお願いしたい。

議案提案

2020年度の事業と運動のすすめ方等、6議案を提案した。

討論



千葉 裕 総代

2020年度の運動方針案の中の「後期基本計画の策定」

について、法人所有地の有効活用を図り、医療・介護・組合員活動が一体となったものを作るべきだ。デイサービスや特養などの建設も視野に入れ、一般企業とは違う医療生協らしい施設を作りたいことを望む。夢を描ければ増資も進む。但馬全体での活動も展望したい。

新型コロナウイルスの感染拡大から、必要なのは公立・公的病院の統廃合ではなく、確保であることが改めて見えてきた。「地域医療をまもる但馬の会」の活動は重要な。また豊岡で、子どもが少なくなっていることを理由に、幼稚園・保育園の統廃合・私立化の話が出てきている。少ないから統廃合ではなく、コナにも対応し授業も充実で

きる少人数学級にする良い機会ではないか。「豊岡子ども幸せを願う会」と協調して運動を進めていこう。

討論のまとめ

法人所有地に、医療・介護・組合員活動が一体となった施設の建設が進むように検討していきたい。

公立病院問題については、事務局と連携して但馬全体の運動につなげていきたい。

幼稚園・保育園の統廃合・私立化については、豊岡市から法人所有地を使いたいと打診があった。この広大な土地をどのように使うか、しっかりと検討していく。

当日出席でない方の発言への回答は、別紙をご覧ください。

表彰

支部表彰

日高支部 (活発な活動)

職員勤続表彰

勤続20年 野竿裕美さん

勤続10年 和田茂孔さん

津称鹿佳代さん

宮田由紀さん

数森章子さん

採決

提案されたすべての議案は、賛成多数で承認された。

新旧役員紹介

理事

安木 洪

(理事長・代表理事)

木下 和茂 (副理事長)

西垣 栄 (副理事長)

藤井 高雄 (副理事長)

松本 幹雄

(専務理事・代表理事・新任)

池田 恵子

井塚 郁子 (新任)

稲葉 一明 (新任)

梅垣 恵子

江中 陽子

岡本 妙子

川嶋 正弘 (新任)

小坂みどり (新任)

佐伯 久雄

谷岡まさ子

中川 健一

彦坂 陽子

藤原 敏憲

古池 佳子

前田 恵利 (新任)

宮本 徹 (新任)

宮本 加代 (新任)

吉垣 忠和 (新任)

和田 茂孔

和田八千代

名誉理事長

前田 貞夫

千葉 裕

監事

伊藤 邦明

中村 典子

橋本 一郎

退任理事

足立 重明

石黒 誠一

稲葉世津子

大森 博

戸田 悦造

土野 郁子

湊崎紀代美

森浦 繁

和田 邦子



和田邦子さんが退任理事を代表してあいさつをされました

2020年度総代

新田・中筋支部

稲森 久子 井上 久子

岡 美佐子 奥 君子

小田垣洋子 金澤 久子

神尾与志廣 小西 一美

島貫 敏乃 高田 雅子

高橋 増子 高見 久子

田中 貞子 南北美津枝

広瀬 幸子 藤田喜久子

村岡 廣子 村岡 敏和

和田 和人

神美支部

秋和 吉数

岡本 邦夫

田中千代野

中西さよ子

和田 妙子

鶴城支部

稲葉 麗子

越智さか枝

高垣 圭介

中島 嗣夫

福井 康子

亀城支部

安治川敏明

足立美都子

河本 直枝

千葉 裕

西垣 桂子

山西 洋平

北西支部

伊藤美恵子

上田 伴子

長野 桂子

福井 朋子

宮本 利明

米田もとみ

日高支部

大植 厚子

岡本 了介

曾我 律子

長岡 正樹

柳沢 義春

朝来支部

安保 嵐子

藤室 清子

大上 梅子

岡本留美子

中島 昌己

濱上 妙子

岩崎 勇

正垣 利秋

竹中 明規

福井 喜一

安治川陽子

木下 賢司

高尾伊津美

千葉 保子

森田 治

池田志津恵

中家 和美

福井 茂夫

前田 嶺子

村岡まゆみ

和田 忠司

岡本 智子

尾崎 緑

中嶋八重子

宮嶋恵美子

桑島 哲朗

安田 龍美

やふ支部

上田 政己

津崎 和男

きたみ支部

木下 哲学

高尾 仁

西村 素子

池田 芳久

今崎 一恵

田中 早苗

道北紀代江

山本 三郎

雲田 正年

藤原 広巳

小林 良子

谷岡 滋雄

平井 康正

石津 信

谷口 紀子

西野 信義

湊崎 博

数森 章子

瀬渡亜由美

西田 彩乃

古谷 弥生

鎌田 秀子

田淵 侑美

春木 圭介

新専務理事あいさつ

松本 幹雄

このたび第25回通常総代会

第1回理事会において専務理

事という大役を仰せつかり身

の引き締まる思いです。

私たちの平穏な暮らしは、

新型コロナウイルスの感染拡

大により一変しました。3密、

能の低下、コミュニケーション機会の減少など様々な問題が身近なところで顕在化してきました。

ウィズコロナ。新しい生活様式が提唱される中、組合員活動も見直し求められています。毎年盛大に行われていた健康まつりは、残念ながら中止を余儀なくされましたが、くらしの助け合いの会「なんなっと」の喫茶店が、コロナ対策を講じながら再開。徐々に賑わいが取り戻され嬉しく思います。

診療所の医療体制の確立、新施設の建設、ボランティア活動の担い手確保など課題が山積しています。今年度中に2021年度から5年間の方針を示す後期基本計画を策定します。たじま医療生協が組合員の皆様の活発な参加を通してさらに発展していくよう微力ながら精一杯努力してまいる所存です。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



ろっぽう投函箱

- ・ウイルスの身近となりて走り梅雨
- ・オルゴールの流れる盛夏手術室
- ・胡麻貸せば胡麻貸し続け誤魔化さるこまごましことゴマ粒のごと

湯町姫
湯町姫
細かい男

「がん」と向き合って 12 和田 邦子

15. 最後に

私がこの手記を「がんとの闘い」ではなく、「がん向き合って」としたのはそれなりの意味があります。最初は、がんになったことに絶望し「がんを闘うぞ」という気持ちでいました。色々考え、自分の生活を見つめ、行動していくうちに、誰の身体の中にもあるがん細胞が身体の中でうまく調節し、出てこないようにすること、言い換えればうまく共存するように付き合っていくことが大切ではないかと思うようになったからです。また、私のがんは偶然といいますか、運がよかったといいますか、たまたま発見していただきました。がんは自覚症状がなかなか出ません。だからこそ早期発見のためには検診が大切です。現在、残念ながら卵巣がんの検診はありません。しかし今では、多くのがんが、血液検査で分かるようになってきました。これからはもっと多くのがんが、簡単に早期発見できるようになることでしょう。検診の大切さを改めて感じています。

今回がんについて書かせていただいたのですが、これは、私一人のがんへの考え方で、参考になることはないかも知れません。また、はじめに書きましたように、がんとの向き合い方も人それぞれです。しかも今は多くの薬や治療法があります。ですから決して、私の考えがベストだと断定するものでもありません。私の考え方ややってきたことが、ささやかでも誰かのそして何かのお役に立てればと思い書かせていただきました。

この文を書かせていただいたのは、がんが脾臓に転移して間もないころでした。あれから3年、2019年(令和元年)7月に脊椎管狭窄症の治療中にごんが骨に転移していることがわかりました。骨に転移していたので、もうこれでがんとの付き合いも終わりかなと思いましたが、それから1年、まだ生きています。振り返ると8年間、がん向き合ってきたことになります。しかし、今後どううまく付き合っていくか自信はありません。これからも転移したがんが、私の中で静かにしてくれますようにと願いつつ、今自分のできることやしたいことを続けていきます。そのことが私の免疫力を上げることにつながっていると思うからです。

最後に、これを読んでくださった方へ。

もし私のがんで逝ったということがわかった時には、よく頑張って付き合ったねと褒めてやってくださいね。

長い間読んでいただきありがとうございました。



ろっぽうクイズ

たじま医療生活協同組合の今年の総代会は第何回だったでしょうか?

- ◎ (A) 15回
- ◎ (B) 25回
- ◎ (C) 50回

はがき、FAX、メールまたは待合室の応募箱にてクイズの答えと、医療生協に対するご意見やご感想を添えて「たじま医療生協クイズ係」までご応募ください。正解者の中から抽選で3名様に、図書カードをプレゼントします。ご住所、お名前をお忘れなく。当選者は次号のろっぽう通信で発表します。そのさいペンネームでの記載をご希望の方は併せてご記入ください。締め切りは8月15日です。

ご意見・感想より

● 手作りマスクを作ったあげたらすつごく喜ばれたので、思わずたくさん作っちゃいました。ひよこ模様の子どものお元がかわいい!

● コロナ騒動で、前にもましてうがい・手洗いをするようになった。今のところ大丈夫だ。収束後もいつ、どんなウイルスが出てくるかわからないので、予防はしっかりと続けていく。

● 5月号の表紙のかまきりの写真がおもしろかったので、同じような光景を庭で探した。

● 前回の答えは「A」なんつと」でした。

● 正解者の中から抽選の結果、次の方に図書カードを進呈します。おめでとごうございます。

宛先

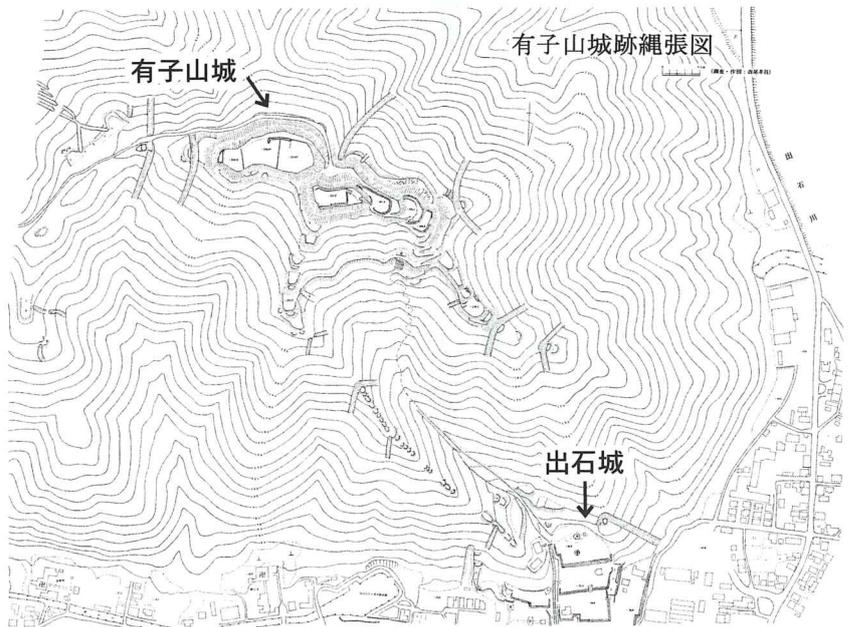
〒668-0851
豊岡市今森465-1
たじま医療生協クイズ係
FAX 0796-24-7010
メールアドレス
info@tajima-coop.com

- やどかりさん (豊岡市)
- K・Sさん (豊岡市)
- 圓山川さん (豊岡市)

シリーズ 有子山城跡～但馬守護山名氏の城② 第3回 西尾孝昌

有子山城は出石川右岸、出石城下の南側、標高321.5mの有子山山頂に所在する。城下との比高は約310mと高く、東西約740m・南北約780mの城域をもつ大城郭である。山頂に至るには、出石城の稲荷曲輪左側の尾根筋を直登する(約45～60分)。

永禄12年(1569)8月此隅山城落城後、山名祐豊は但馬を脱出して泉州堺(大阪府堺市)に逃れたが、織田信長の御用商人今井宗久の斡旋で但馬に帰国し、天正2年(1574)頃有子山城を築城した。天正3年(1575)春には、「尼子掃討」を目的として「芸但和睦」(山名氏と毛利氏の同盟)が成立する。同年10月には、毛利方の丹波黒井城主荻野直正が太田垣輝延の竹田城と祐豊の有子山城を急襲する。その救援を信長の部将明智光秀に要請している(八木豊信書状「吉川家文書」)。この頃から織田党と毛利党の対立が先鋭化してくる。特に天正4年(1576)2月信長に京都を追放された將軍足利義昭が備後国鞆に逃れ、毛利輝元に幕府再興を依頼して以降友好関係を保っていた毛利と織田は敵対関係に入り、但馬は毛利と織田との「境目」となる。天正5年(1577)11月羽柴秀長の第一次但馬進攻により南但は制圧され、秀長は竹田城を拠点とする。天正6年(1578)4月18日には、織田方の宵田城城督伊藤与三左衛門尉・宵田城主・(垣屋光成)らと毛利方の轟城主垣屋豊統・古志重信・宇山久信らが「宵田城」・「水生城古城」の戦いで激突した。この戦いは、豊統の子兵部丞が伊藤与三左衛門尉を討ち取るなど毛利党が一時的に勝利した。この時祐豊・氏政父子は毛利党の支援を行わず日和見の姿勢であった。吉川元春は古志重信宛の書状の中で、「出石(祐豊・氏政)の御事、今に敵共味方とも相澄まず、去る頃宵田表へ豊統相戦われ候時も、出石より少人数成りとも差出され候わば弥勝利たるべく候に、其の儀無きの由に候、世上を見合さる趣きに候哉」と記している(垣屋豊統書状「田結庄文書」・毛利輝元書状写「垣屋文書」・吉川元春書状「牛尾家文書」など)。このような姿勢の祐豊父子に対し、宵田・水生城の戦いから1ヶ月たった同年5月16日、秀吉は出石郡の知行と居城(有子山城)安堵を条件に織田方に与同するよう誘っている(羽柴秀吉書状写「村岡山名家文書」)。さらに秀吉は同年6月、但馬の国衆を竹田城に召し出している(『信長公記』)。その後祐豊父子は織田方の誘いに応じなかったようで、天正8年(1580)3～5月秀長の第二次但馬進攻の時、有子山城は落城している(羽柴秀吉禁制『福成寺文書』)。



診療時間

診療体制	月	火	水	木	金	土
午前 9時～12時	○	○	○	○	○	○
午後	～往診・予防接種～					
夜間 16時～18時	△	△	○	△	○	△

受付時間 午前診療 受付 8:30～12:00
 午後診療 受付 15:30～18:00
 日曜・祝日休診

ろっぽう診療所

〒668-0851 豊岡市今森465-1 ☎24-7007
 F 24-7010

介護事業所 えがお

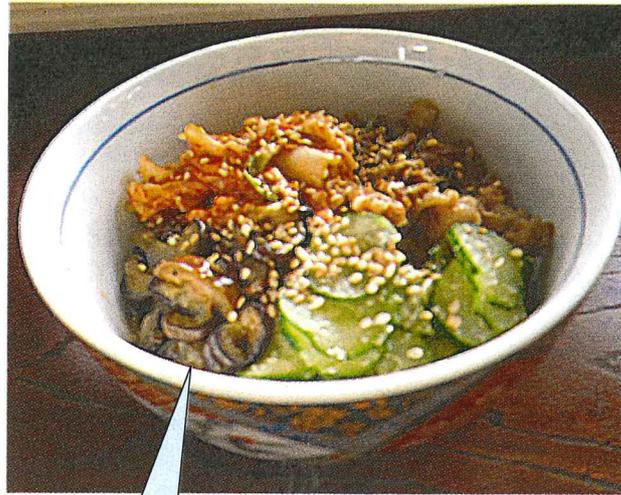
〒668-0852 豊岡市江本396-1 101号・102号
 居宅介護支援事業所えがお ☎24-7013
 F 24-6154
 訪問看護ステーションえがお ☎24-6144
 F 24-6154
 ヘルパーステーションえがお ☎24-4731
 F 24-4733
 訪問入浴サービスえがお ☎34-9110
 F 24-4733

急募

診療所所長医師・非常勤医師
 診療所看護師(非常勤)
 診療所放射線技師(非常勤)
 訪問看護師(常勤・非常勤)
 理学療法士・作業療法士(常勤・非常勤)
 ヘルパー(登録)
 訪問入浴看護師(非常勤)
 担当:松本・瀬渡まで
(TEL 0796-24-7035)

◆材料4人分◆

- 炊きたてのご飯……………4杯分(約600g)
- 豚こま切れ肉……………200g
- ごま油……………小さじ2
- 焼き肉のたれ(市販品)……………大さじ2
- キュウリ……………2本(約200g)
- A { すりごま……………小さじ2
- 砂糖……………小さじ1/2
- ごま油……………小さじ2
- ナス……………2本(約200g)
- ごま油……………大さじ1
- 焼き肉のたれ(市販品)……………大さじ2
- ハクサイキムチ……………適量(50g)
- 塩、白いりごま



1人分 436Kカロリー・蛋白質 15.0g
塩分 2.8g

「私のおすすめ料理」⑤0
たつぷりの夏野菜とキムチを添えて！
簡単ビビンバ

管理栄養士 川戸宏子

◆作り方

- ①キュウリはへたを取って薄い小口切りにし、塩小さじ1/3をまぶし、しんなりしたら水けを絞る。ごま油小さじ2で炒め、Aで調味して取り出しておく。
- ②ナスはへたを取って縦半分に分切り、3mmの薄切にする。塩小さじ1/2をふり、しんなりしたら水けを絞る。ごま油大さじ1で炒め、焼き肉のたれ大さじ2をからめる。
- ③豚肉は食べよい大きさに切り、焼き肉のたれ大さじ2をからめる。ごま油小さじ2で焼き色がつくまで炒める。
- ④ごはんを器に盛り、①②③とキムチをのせて白ごまをふる。

川戸宏子さんの「わたしのおすすめ料理」は今回で終わりです。8年間の長きにわたるご執筆いただき、ありがとうございました。

なんなっと通信

「なんなっと」を利用された方から、次のようなお手紙をいただきました。

「なんなっと」のお世話になりました。

昨年8月のことです。眼の手術の紹介状を携えて某眼科で受診しました。検査後に説明会と手術日を提示されました。日程に不都合はなかったのですが、付添人が必要でした。近隣に住する弟妹は事情があり、無理が言えませんでした。支部の方に相談して「なんなっと」事務局へ問い合わせました。翌日快諾のお返事をいただき、窮状を解消できました。3日も同じ方の、さりげなく濃やかな対応と看護を受けて、順調に手術を終えることができました。生活の支援を求める領域や人口が増加する現実を目の当たりに、「なんなっと」事業の重要性と、更に個々の要望に懇切な対応をいただいた喜びを実感しました。ありがとうございました。

美万支部Y・H

2020

「国民平和大行進」

今年は新型コロナウイルスの影響で、全国の通し行進もなく、行進のニュースや6日広島・9日長崎の国際大会はオンラインで発信されます。但馬での取り組みは4日河梨峠で京都府より引継ぎ、9日鳥取県に引き継ぐまで、宣伝力のみで核兵器廃絶・被爆者援護を訴えます。

世界で唯一被爆国の日本が核兵器廃絶の条約に批准もせず国際世論、流れに背を向け続けていることは、情けない残念な事です。一人ひとりの力は小さくても、集まれば大きな力になります。「核兵器廃絶」の署名を国連に届けましょう。

